

2025年度 事業報告

専務理事 西岡 令子

I. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
1. 看護職の継続教育の推進	
1) 「看護の将来ビジョン 2040」達成に向けて、質の高い看護人材を育成する教育プログラムの企画・実施・評価	教育計画「ブロード」版の作成、全会員に配付 オンライン研修システムマナブルに掲載 教育研修実施録の作成
2) 研修内容	全部で43研修と学会1の44コースを実施 受講・参加延べ人数3,142名（詳細は一覧表参照）
(1) 専門職としての活動の基盤となる研修	(1) 23研修 計1,569名受講
(2) 看護・医療政策に関する研修	(2) 3研修 計130名受講
(3) 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修	(3) 8研修 計612名受講
(4) 看護管理者を対象とした研修	(4) 3研修 計107名受講
(5) 資格認定教育	(5) 5研修
①認定看護管理者教育課程ファーストレベル	① 6/16～7/18（20日間）63名修了
②ファーストレベル公開講座	②2研修（6/28、7/5）計10名受講
③セカンドレベル実践報告会	③9/17 修了者25名、修了者以外16名
(6) 委員会活動と連動した交流会・研修	(6) 11交流会・研修 計392名参加・受講
①助産師実践能力熟段階Ⅲ（CLoCMip®）認証申請研修	①2研修 計29名受講
2. 奈良県受託事業に関する研修	上記2) 研修内容の再掲
1) 看護職員資質向上推進事業	1)
(1) 実習指導者講習会（一般分野）	(1) 6/2～10/28（うち27日間） 66名修了
(2) 実習指導者講習会（特定分野）	(2) 6/2～10/28（うち11.5日間） 6名修了
2) 認知症対応力向上研修	2)
(1) 奈良県看護職員認知症対応力向上研修	(1) 11/27・11/28・12/10（3日間） 60名受講 58名修了
(2) 奈良県病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修	(2) 1/22 21名受講
2) 新人看護職員研修事業	
(1) 新人看護職員集合研修	(1) 5/16～11/4（5日間）108名受講
(2) 2年目フォローアップ研修	(2) 10/17 63名受講
(3) 新人集合研修公開講座	(3) 7/3 25名受講
(4) 実地指導者研修	(4) 11/10～1/19（うち4日間）70名受講
(5) 研修責任者・教育担当者研修	(5) 11/10～1/16（うち3日間）45名受講
3) 訪問看護推進研修事業	
(1) 奈良県訪問看護師養成講習会～訪問看護eラーニング活用～	(1) 6/1～11/30（eラーニング6か月） 7/12・8/23・9/20（集合研修3日間） 10/1～11/28（実習4日間） ※9/30までにeラーニング修了者対象 集合研修受講延べ92名修了 （うち公開講座50名）
(2) 訪問看護人材確保支援事業	訪問看護養成講習+eラーニング修了14名
(3) 訪問看護における暴力・ハラスメント対策事業	
3. 日本看護協会 ODE 研修	

1) 看護補助者標準研修 -看護補助体制充実加算該当パッケージ	5/20 19名受講 19名修了
2) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	10/10 85名受講 85名修了
3) 外来における在宅療養支援能力向上のための研修	1/15 26名受講 26名修了
4) 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	11/14 87名受講 87名修了
4. 奈良県看護学会 ハイブリッド形式 オンデマンド配信	12/13 (土) かしはら万葉ホール テーマ「看護の本質 ～そこに看護はあるのか～」 参加者 208名 (オンライン 16名含む) 発表演題 口演 15題 示説 5題
5. 医療安全管理者養成研修 (日本看護協会主催)	日本看護協会からのオンデマンド研修後、 11月7日 集合研修 医療安全検討委員会が運営 54名修了

II. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益目的事業)

事業内容	
1. ナースセンター事業 (奈良県受託事業)	37～39 ページ参照
1) ナースバンク事業 無料職業紹介所	1) 相談日:月～金曜日 9:00～16:30
(1) NCCS システムによる登録・管理	場所: 奈良県看護研修センター
(2) 求人・求職者に対する相談及び紹介・連絡調整	相談方法: 電話・メール・来所
(3) 求人・求職に関する情報提供	
(4) 求人・求職動向の把握	
(5) 雇用給付金取扱職業紹介事業所 (助成金申請)	
(6) 「病院ガイド」作成・協会ホームページ掲載	(6) 看護学生、看護職の就職相談等の活用
2) 看護職員復職応援事業 (奈良県受託事業)	(1) 復職支援研修 38 研修 6/3～12/12
(1) 看護職復職支援研修 (講義・病院、施設等実習)	受講者 62 名
(2) 採血演習 (シミュレーターを使用)	3) 3/2 開催
3) ナースセンター事業運営協議会	
2. ナースセンター機能強化事業 (奈良県受託事業)	
1) 看護師等免許保持者の届出制度「とどけるん」	
(1) 離職時等の届出制による登録推進と潜在看護職の把握	
(2) 届出制度 PR	
2) 出張相談	
①奈良県女性センター (奈良県福祉人材センター共催)	①月 1 回 計 12 回 就業相談 8 名・進路相談 0 名・求人 0 件
②ハローワーク奈良	②月 2 回 計 24 回 就業相談 41 名・進路相談 0 名・求人 1 件
③ハローワーク大和高田	③月 2 回 計 24 回 就職相談 12 名・進路相談 0 名・求人 0 件
④ハローワーク大和郡山	④月 1 回 12 回 就職相談 21 名・進路相談 0 名・求人 1 件
⑤介護職 看護職面接/相談会 (ハローワーク大和高田)	⑤月 1 回 計 12 回 就職相談 27 名・進路相談 0 名・求人 56 件
3) ハローワークとナースセンター連携事業	
(1) ハローワーク連携事業 (奈良・大和高田)	(1) 求人 0 名 求職者 34 名 就業者 16 名
(2) 事業周知チラシ掲示依頼	県内 2 ヲ所のハローワークより月 1～2 回
(3) 求人情報の提供、求人情報誌の配布	年 48 回
(4) 看護職セミナー	(4) ①11 月 12 日 参加数: 12 名/就職者
①ハローワーク奈良	数: 4 名

- ②ハローワーク大和高田
- (5) 看護補助者セミナー
 - ①ハローワーク奈良
 - ②ハローワーク大和高田
- (6) 看護補助者オンデマンド研修
 - ①ハローワーク奈良
- (7) 就職応援フェア

- 4) セカンドキャリアナース研修
- 5) 看護職員就業状況調査

調査のねらい：看護職の働き方改革推進や就労支援を行うために活用する。

調査集計を各病院に報告：12月
- 6) 進路・キャリアアップ相談
 - (1) 看護学校進学ガイダンス
 - (2) 看護職の進学や看護職を目指す方からの相談・問合せ対応、情報提供
 - (3) 看護職をめざす方へのパンフレット作成
「看護専門学校等募集要項」
 - (4) 行政、大学、企業等の看護学生の就職相談会の協力
 - ①奈良県立医科大学医学部看護学科
 - ②畿央大学
- 7) 看護職メンタル相談事業
 - (1) 相談窓口（予約制）
- 8) 広報活動
 - (1) 看護学生にナースセンターをPR（講義）
 - (2) 求人情報発行
 - (3) 看護協会広報誌「看護なら」掲載（ナースセンターだより）
 - (4) 出張相談案内チラシ
 - (5) 看護協会ホームページへ事業紹介・情報提供
 - (6) ポスター、チラシ作成・掲示依頼
 - (7) 県ホームページ等情報提供
 - (8) ナースセンター事業紹介
 - ①実習指導者講習会
 - ②ファーストレベル
- 9) 他機関との連携
 - ①ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議
- 10) 他団体との連携
 - ①日本看護協会中央ナースセンター
 - ・ナースセンター長会議
 - ・ナースセンター事業担当者会議
 - ・ナースセンター事業担当者情報交換会
 - ②近畿地区看護協会人材確保定着会議
 - ③公共職業安定所

- ②9月12日 参加数：9名/就職者数：5名
- (5)①7月4日 参加者：33名/就職者数4名
- ②6月4日 参加者：24名/就職者数6名

- (6)
- ①7月28日 参加者：41名/就職者数2名
- (7)
- 6月20・27日・11月19日・3月5日
- 場所：奈良県コンベンションセンター
- 相談者：4名
- 37～39 ページ参照
- 5) 時期：8月
- 奈良県内75病院勤務の常勤看護職の就業状況（離職率）調査

- 37～39 ページ参照

- (3) 500部

- 4月3日 講義：春木邦恵
- 12月15日 講義：春木邦恵
- 37～39 ページ参照

- (1) 奈良県内看護学校：3校
- 対象者：3年生等看護学生・教員
- 参加者：学生89名・教員2名
- 他看護学校には、e ナースセンター登録、NuPSのチラシなど訪問し配布
- (2) 年12回
- (3) 年2回
- (4) 配布先：奈良県労働局・各ハローワークなど
- (6) 配布先：病院・施設、公共機関など

- (8)
- ①6月2日 65名
- ②6月16日 63名

- ①20 ページ参照

<p>④奈良県福祉人材センター（出張相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉の就職総合フェア <p>⑤奈良県女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人情報誌の配布 ・事業周知チラシ情報配布 <p>⑥奈良県医療勤務環境支援センター</p> <p>(12) 事業実施報告</p> <p>3. 「看護の心」啓発・普及事業</p> <p>1) 看護の出前授業：「みんなで話そう-看護の出前授業」</p> <p>奈良県看護協会 主催</p> <p>2) 「看護の日・看護週間」事業（厚生労働省・日本看護協会主催・文部科学省後援）</p> <p>3) ふれあい看護体験</p> <p>4) お仕事体験博</p> <p>4. 地域に必要な看護職確保推進事業</p> <p>1) 奥大和地域医療見学ツアーの実施</p> <p>5. 各賞候補者の推薦</p> <p>1) 叙勲</p> <p>2) 奈良県看護功労者知事表彰</p> <p>3) 日本看護協会会長表彰</p> <p>4) 奈良県看護協会会長表彰</p> <p>6. 看護労働環境改善推進委員会</p> <p>7. 医療安全検討委員会</p> <p>8. 看護補助者標準研修</p>	<p>(12) 県、奈良労働局、中央ナースセンター</p> <p>3. 37～39 ページ参照</p> <p>4. 37～39 ページ参照</p> <p>1) 11月3日 被表彰者 1名</p> <p>2) 5月11日 被表彰者：25名 (保健師1名、看護師24名)</p> <p>3) 6月10日 被表彰者：2名</p> <p>4) 6月21日被表彰者：6名 場所：かしはら万葉ホール</p> <p>6. 28 ページ参照</p> <p>7. 29 ページ参照</p> <p>8. 7月4日 参加者：24名</p>
--	--

III. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
1. 保健師職能委員会	1. 23 ページ参照
2. 助産師職能委員会	2. 23 ページ参照
3. 看護師職能Ⅰ委員会	3. 24 ページ参照
4. 看護師職能Ⅱ委員会	4. 24 ページ参照
5. 地区支部委員会	5. 25～27 ページ参照
6. 図書室の管理	
1) 図書文献サービス	
(1) 図書室資料の整理（看護協会移転に伴う準備）	(1) 蔵書数：専門図書 2656 冊 一般図書 0 冊 雑誌 10 種類 視聴覚資料 0 本
(2) 収集資料の受け入れ整備と所蔵資料目録の運営管理	
(3) 看護文献検索・情報提供サービスの向上	(3) インターネットによる検索案内： 検索リンク先 10 施設
2) 図書室の利用促進	2) 来室利用者：会員 10 名、非会員 0 名 他、長期間研修受講者（実習指導者講習会、ファーストレベル） 貸出：図書 14 冊、 視聴覚資料 0 本 文献複写：利用枚数 20 枚

<p>3) 訪問看護総合支援センター事業に関すること (訪問看護人材確保支援事業)</p> <p>(1) インターンシップ事業 県内看護大学・看護専門学校に訪問看護ステーションで実地体験してもらう</p> <p>(2) プリセプター配置・現場指導事業 ①新人訪問看護師が職場になじめるように支援する ②医療処置やケアを学ぼうとする職員に現場指導の実施 ③プリセプター研修 (プリセプターの養成)</p> <p>(3) 訪問看護制度研修 ①技術研修 (ビギナー：ミドル・カスタム) ②セミナー (小児看護・嚥下障害看護)</p> <p>(4) 多職種連携会議 災害時における医療・介護・福祉の多職種連携を考える</p> <p>(5) 訪問看護管理者研修 人材育成・奈良県の施策・労務管理</p> <p>(6) 地域教育事業 保健医療圏域ごとに教育ステーションを設け、地域の訪問看護ステーションを支援する</p> <p>(7) 教育計画・プログラム策定事業 訪問看護師用ラダーを作成</p> <p>(8) 認定看護師派遣調整事業 病院や訪問看護ステーションに勤務する認定看護師を派遣し、技術習得を支援</p> <p>(9) 訪問看護経営相談事業 ①新規開設する訪問看護ステーションの支援 ②既存の訪問看護ステーションの経営運営への相談</p> <p>(10) 訪問看護実態調査事業 県内訪問看護ステーションへ実態調査を実施</p>	<p>(1) ~ (10) 40 ページ参照</p> <p>・教育計画、研修内容の検討 申請事業所数 (8) 派遣申請件数 (8 件) 講師派遣数 (8 件) 受講者計 144 人</p> <p>(10) 委員会開催 (2 回)</p>
<p>4. 訪問看護推進研修事業</p> <p>1) 訪問看護師養成講習会 (奈良県受託事業)</p> <p>2) 訪問看護における暴力・ハラスメント研修 (奈良県受託事業)</p> <p>3) 奈良県医療的ケア児等在宅レスパイト (一時預かり) 事業</p> <p>5. 災害時の看護支援体制</p> <p>1) 災害支援ナース派遣調整合同訓練 (日本看護協会)</p> <p>2) 看護協会災害支援ナース指導者養成研修</p> <p>3) 災害・感染症に係る看護職員等確保事業 災害支援ナース養成研修</p>	<p>再掲</p> <p>2) ①集合・オンライン研修 5/31 41 名受講 ②オンデマンド研修 8/1~12/1 89 名受講 (上記研修の収録動画を配信)</p> <p>3) 2025 年 10/1~2026 年 3/31 まで 3 事業所申請</p> <p>1) 新たな派遣調整の仕組みに則って、一部の地域に限定して実施 (奈良県該当なし)</p> <p>2) 災害支援ナース養成研修の集合研修の企画・指導者資格取得 (企画指導者 1 名、災害指導者 1 名、感染症指導者 1 名終了) オンデマンド研修 ①共通編 11/1~2/10 ②演習災害編 2/13 ③演習感染症編 2/27</p> <p>3) オンデマンド研修 7/1~10/30 11/5 災害編演習 11/18 感染症編演習 修了者 61 名</p>

<p>4) 奈良県事業に協力</p> <p>(1) 国民保護法に基づく支援</p> <p>(2) 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく協力・支援</p> <p>(3) 鳥インフルエンザ発生時における協定に基づく支援</p> <p>(4) 災害対策基本法に基づく支援</p> <p>(5) 奈良県防災総合訓練に参加、協力</p>	<p>(5) 10月25・26日 2026年度 近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・奈良県防災総合訓練開催</p> <p>10/26 医療救護訓練及び避難所訓練に災害支援ナース 37名参加</p>
--	---

V. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
<p>1. 日本看護協会事業に協力</p> <p>1) 日本看護協会への入会手続き</p> <p>2) 各種会議への出席</p> <p>3) 地域に必要な看護職確保推進事業</p> <p>4) 日本看護協会と協働して実施する研修</p> <p>2. 災害支援ナース派遣調整合同訓練</p> <p>3. 日本看護協会会長表彰</p> <p>4. 日本看護協会との連携と情報交換</p>	<p>2) 20ページ参照</p> <p>再掲</p> <p>5研修（再掲）</p> <p>2. 奈良該当なし</p> <p>再掲</p> <p>20ページ参照</p>

VI. 施設の貸与に関する事業（公益目的事業／法人管理に関する事業）

事業内容	
<p>1. 施設運営に関する事業</p> <p>1) 看護研修センターの運営</p> <p>2) ホームナーシングセンターの運営</p> <p>3) 駐車場の管理と運営</p>	<p>73ページ参照</p> <p>42ページ参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料金の管理 ・駐車券販売の管理 ・駐車場維持管理（草刈り：年2回） ・ゲートシステム維持管理

VII. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業／共益事業／法人管理に関する事業）

事業内容	
<p>1. 広報活動に関する事項</p> <p>1) 機関紙その他啓発出版物の刊行</p> <p>(1) ホームページの活用</p> <p>(2) 「看護なら」の作成配布（広報出版委員会）</p> <p>2) 奈良新聞への寄稿：看護の日に寄せて</p> <p>3) 県医師会広報誌 医師会新報への寄稿</p> <p>4) 産経新聞掲載</p> <p>2. 渉外活動に関する事項</p> <p>1) 関係団体との連携強化</p> <p>(1) 看護学校等</p>	<p>(2) 年2回（7月・1月）・総会特集号（5月）</p> <p>2) 5月10日 春木邦恵</p> <p>3) 年4回（6月・9月・12月・3月）</p> <p>4) 5月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県内看護学校、大学看護学部卒業式、入学式及び宣誓式（戴帽式）に出席 ・卒業生及び入学生へ祝電及びお祝いのメッセージを送付

<p>2) 看護関連政策の実現</p> <p>(1) 奈良県への要望</p> <p>1. ナースセンター事業拡充に伴う支援</p> <p>2. 看護職のさらなる資質向上のための研修企画・運営への支援</p> <p>3) 県主催事業への出席・協力</p> <p>(1) 奈良県事業に協力</p> <p>(2) 県主催事業の審議・会議等に委員として参加</p> <p>(3) 関係団体の総会等への出席</p> <p>(4) 関係団体への協力支援</p> <p>3. 会員支援に関する事業</p> <p>1) 表彰 (再掲)</p> <p>2) 見舞い・その他</p> <p>(1) 弔慰見舞い</p> <p>3) 身分擁護と福利厚生</p> <p>(1) 医療事故に関する情報提供と相談</p> <p>(2) 個人情報 の適正管理</p> <p>4. 組織に関する事項</p> <p>1) 協会組織の強化</p> <p>(1) 会員数の増加の拡大</p> <p>①会員サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新会員情報管理体制 (ナースシップ) による入会・継続手続き ・オンライン研修システムマナブル運用 ・ホームページによる会員との連携 ・SNS開設 ・医療安全相談窓口の継続 ・個人情報保護法等関係法令の適正管理 ⑦適正な取り扱いを遵守 ①パソコンセキュリティ管理 ・入会案内・リーフレットの配布 <p>②地区支部活動の充実</p> <p>③地区医師会との連携 (橿原地区四師会) 開催</p> <p>(2) 規約委員会</p> <p>①公益法人制度改革に対応した諸規程の見直し</p> <p>2) 円滑な組織運営のための諸会議の開催</p> <p>(1) 諸会議の開催</p> <p>①通常総会</p> <p>②職能集会</p> <p>③地区支部</p> <p>④理事会</p> <p>⑤業務執行理事会</p> <p>⑥職能委員会</p> <p>⑦常任委員会</p>	<p>・看護学校等行事への参加</p> <p>9月3日</p> <p>出席：春木邦恵、橋口智子、高橋久子、西岡令子、森田冴子、高島範子、山口豊仁</p> <p>(2) 21 ページ参照</p> <p>1名</p> <p>25～27 ページ参照</p> <p>8月28日 (協会担当) 会長、理事参加</p> <p>30 ページ参照</p> <p>6月21日</p> <p>場所：かしはら万葉ホールロマントピアホール</p> <p>参加人数：本人出席 197名 委任状出席 7,195名</p> <p>合計 7,393名</p> <p>23～24 ページ参照</p> <p>25～27 ページ参照</p> <p>年9回開催</p> <p>年8回開催</p> <p>定例会</p> <p>定例会</p>
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ⑧特別委員会 3) 推薦委員会 4) 選挙管理委員会 5. 奈良県看護研修センターの管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 1) 施設管理に関すること <ul style="list-style-type: none"> (1) 施設整備・保守管理業者委託 <ul style="list-style-type: none"> ①館内清掃 ②警備、消防、給水設備点検 ③エレベータ点検 ④空調保守 ⑤自動ドア点検 ⑥電気設備点検 ⑦植木剪定、消毒 (2) 機器等リース保守管理 <ul style="list-style-type: none"> ①コピー機 (3 台) ②パソコン ③ホームページレンタルサーバ ④電話機 ⑤防犯 ⑥ダスキンマット (3) 音響・映像設備の保守・点検 (4) 借上駐車場の管理 (草刈り) 2) 会計管理に関すること <ul style="list-style-type: none"> (1) 消費税・所得税積算等についての税務委託 6. ホームナーシングセンターの管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 1) 施設管理に関すること <ul style="list-style-type: none"> (1) 施設整備・保守管理業者委託 <ul style="list-style-type: none"> ①館内清掃 ②警備、消防、給水設備点検 ③エレベータ点検 ④空調保守 ⑤自動ドア点検 ⑥電気設備点検 (2) 機器等リース保守管理 <ul style="list-style-type: none"> ①コピー機 (1 台) ②パソコン ③電話機 ④防犯 ⑤ダスキンマット (3) 音響・映像設備の保守・点検 (4) 借上駐車場の管理 7. その他 <ul style="list-style-type: none"> 1) 公益財団法人日本対がん協会寄附 2) 第 20 回日本医療マネジメント学会奈良支部学術集会寄附 	<p>定例会 28 ページ参照 28 ページ参照</p> <p>日常清掃：週 5 回、定期清掃：年 3 回 警備：毎日 消防設備点検：年 2 回 給水設備点検：年 2 回 月 1 回 年 4 回 年 4 回 年 6 回 各年 1 回</p> <p>(4) 年 2 回 (税理士に依頼)</p> <p>①日常清掃：週 1 回、定期清掃：年 2 回 ②警備：毎日 ③月 1 回 ④年 2 回 ⑤年 4 回 ⑥年 6 回</p> <p>1) 9 月 24 日 3) 8 月 26 日</p>
--	--

2025年度 日本看護協会主催会議等参加報告

会議名	日程	回数	参加者
1. 日本看護協会理事会	5/9・6/11.12・ 7/24.25・9/18.19・ 11/27.28・2/19.20	6回	春木
2. 日本看護協会法人委員会	6/7・11/29・2/28	3回	春木
3. 日本看護協会通常総会	6/10	1回	春木・代議員 高橋・森田
4. 代議員研修会	5/16	1回	代議員 予備代議員
5. 全国職能集別交流集会	6/11	1回	職能理事・代議員 高橋・森田
6. 全国職能委員長会	8/1・3/6	2回	各職能委員長
7. 地区別法人委員会(近畿地区)	11/6.7	1回	春木・西岡
8. 地区別職能委員長会	11/7	1回	各職能委員長
9. 都道府県看護協会政策責任者会議	9/18	1回	春木・西岡
10. 都道府県看護協会看護労働担当者会議 (Web)	7/17	1回	西岡・小田
11. 新会員情報管理情報交換会担当者会議 (Web)	7/30	1回	春木・古幡・西川
12. 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会 合同会議 (Web)	11/13	1回	春木・池之畑
13. ナースセンター事業担当者会議 (Web)	4/16	1回	西岡・小田
14. 都道府県看護協会図書室担当者研修会 (Web)	11/7	1回	西岡・山口(千)
15. 都道府県看護協会広報担当役員会議 (Web)	11/19	1回	春木・西岡・ 山口(千)
16. 都道府県看護協会健康危機管理会議 (Web)	12/17	1回	春木・高島
17. 全国基礎教育担当役員会議 (Web)	3/10	1回	森田
18. 日本看護協会医療事故調査制度に関わる専門家 連絡会議 (Web)	11/11	1回	春木
19. 都道府県看護協会教育担当者会議 (Web)	9/10・2/4	2回	森田・津森
20. 公益法人運営に関する勉強会 (Web)	10/26	1回	春木・西岡・ 山口・古幡
21. 訪問看護連絡協議会全国会議	11/13	1回	春木・伊藤
22. 認定看護管理者教育機関担当者会議(Web)	11/11・3/17	2回	森田・津森
23. 都道府県看護協会教育担当者対象研修(集合)	2/4	1回	森田・高島

近畿地区看護協会連携会議

1. 近畿府県看護協会事務担当者会議	12/1	1回	山口
2. 近畿地区看護協会災害看護担当者会議 (Web)	2/3	1回	春木・高島
3. 近畿地区看護協会教育担当者会議(Web)	12/15	1回	森田
4. 近畿地区看護協会人材確保定着担当者会議 (Web)	2/3	1回	春木・西岡・ 治田・小田・秦
5. 近畿地区看護協会立訪問看護ステーション統括者 及び管理者交流会 (Web)	3/4	1回	春木・高島 伊藤・池之畑 ・中川

2025年度 県関連団体会議等参加報告

会議名	日程	回数	参加者
1. 奈良県防災会議	2/12	1回	春木
2. 奈良県医療審議会	9/1・3/19	2回	春木
3. 奈良県医療推進協議会役員会	12/8	1回	春木
4. 奈良県防災会議幹事会	5/22・10/27	2回	高島
5. 奈良県防災総合訓練会議	5/22・6/3・ 8/4・8/8・ 9/29・10/25・ 2/12・3/11	8回	高島 災害看護委員
6. 奈良県地域医療対策協議会	8/26・1/29・ 3/18	3回	西岡
7. 奈良構想区域地域医療構想調整会議	3/5	1回	高島
8. 東和保健医療圏地域医療構想調整会議	3/4	1回	西岡
9. 西和構想区域地域医療構想調整会議 (WEB)	12/8・2/26	2回	高島
10. 中和保健医療圏地域医療構想調整会議 (Web)	12/8・3/5	2回	森田
11. 南和保健医療圏地域医療構想調整会議	3/2	1回	西岡
12. 「面倒見のいい病院」指標検討会	11/20・3/11	2回	津森
13. 奈良県肝炎対策推進協議会 (Web)	9/16	1回	西岡
14. 奈良県感染症対策連携協議会	5/1・7/1・2/26	3回	高島
15. 奈良県感染症対策連携協議会 外来・在宅医療部会	8/26	1回	高島
16. 奈良県小児慢性特定疾病対策協議会	10/31	1回	森田
17. 奈良県要保護児童対策地域協議会	12/17	1回	高島 (欠席)
18. 奈良県病院看護管理者協議会	6/27・1/9	2回	春木・西岡 森田・高島
19. 奈良県介護実習・普及センター運営委員会	3/31	1回	森田
20. 奈良県在宅医療推進会議 (ZOOM)	2/1 (研修)・2/19	2回	高島
21. 奈良県医療勤務環境改善支援センター運営協議会	2/16	1回	西岡
22. 奈良県母性衛生学会理事会 (副会長)	2/17	1回	春木
23. 奈良県母性衛生学会理事会 (監事)	7/15・2/17	2回	森田
24. 奈良県母子保健運営協議会	10/31・2/12	2回	森田
25. 奈良県運営適正化委員会	4/15・6/17・ 7/17・8/19・ 10/14・12/16・ 2/17	7回	高島
26. 奈良県介護保険審査会 委員総会	6/5・7/10	2回	高島
27. 奈良県循環器対策推進会議 (Web)	2/20	1回	森田
28. 奈良県医療安全推進センター理事会	7/7・3/30	2回	春木
29. 奈良県医療安全推進会議	開催なし		春木
30. 在宅看護特別教育プログラム推進会議	6/9	1回	春木・伊藤 津森
31. 奈良マラソン実行委員会	4/14・11/11 (代 理)・12/14	3回	高島
32. 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 奈良県準備委員会	8/5	1回	春木
33. ナースセンター事業運営協議会	3/2	1回	西岡・治田
34. ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議 (web)	7/16	1回	治田・小田
35. 近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会 (Web)	2/13	1回	森田
36. 配偶者からの暴力被害者支援協議会	9/19・12/25・2/13	3回	森田

2025年度 市町村事業等・関係団体機関等参加報告

会議名	日程	回数	参加者
日本看護連盟通常総会	6/6	1回	春木
奈良県看護連盟通常総会	6/14	1回	春木・高島・西岡
1. 看護連盟近畿ブロック政策セミナー	9/27	1回	春木・西岡
2. 看護協会・連盟合同会議（地区別法人委員会）	11/7	1回	春木・西岡
3. 奈良市地域密着型サービス運営委員会	4/18・5/23・ 8/22・9/22・ 10/27・1/23・ 3/19	7回	高島
4. 奈良市高齢者福祉推進協議会（書面）	11/17	1回	高島
5. 奈良市地域包括支援センター運営協議会	3/12	1回	高島
6. 橿原市・橿原自治委員会連合同防炎訓練会議	開催なし		春木・高島
7. 橿原市介護保険運営協議会	2/26	1回	高島（欠席）
8. 桜井市介護保険運営協議会	7/22・11/18	2回	森田
9. 桜井市地域包括支援センター運営協議会	7/22・11/18	2回	森田
10. 大和高田市介護保険運営協議会	1/11	1回	西岡
11. 飛鳥ハーフマラソン実行委員会	6/13・2/6・3/8	3回	高島
12. 奈良県健康づくり財団理事会	3/24	1回	春木
13. 奈良県健康づくり財団評議員会	開催なし		橋口
14. 奈良県済生会支部理事会	5/27・6/20・ 10/7・3/6	4回	春木
15. 国保中央病院組合経営強化プラン点検・評価委員会	8/20	1回	春木
16. 奈良市立看護専門学校関係者評価委員会	3/26	1回	春木
17. 奈良県福祉人材センター運営委員会	8/21	1回	春木
18. ナースセンター事業運営協議会	3/2	1回	治田・西岡
19. 看護関係団体連携会議	1/23	1回	春木・西岡
20. 日本医療マネジメント学会奈良支部幹事会・運営委員会（運営委員）	6/18・2/21	2回	高島
21. 新しい公益法人制度説明会（内閣府）	7/16・2/2	2回	春木・西岡 山口・古幡
22. 日本医療マネジメント学会奈良支部幹事会・学術集会	2/21	1回	春木（欠席）
23. 奈良県病院看護管理者協議会	6/27・/1/9	2回	春木・西岡 森田・高島
24. 奈良県橿原地区医師会互例会	1/25	1回	春木・西岡

2025年度職能委員会活動報告

◇ 保健師職能委員会 ◇

委員長 尾島 典子

本委員会は5名の委員で構成され、県内保健師間の連携強化とネットワーク推進を目的に、以下の活動に取り組んだ。

【活動内容】

1. 定例会（8回）
 - 1) 奈良県看護職交流会（保健師職能委員会主催）の企画、準備
 - 2) アンケート調査
 - 3) 地区別保健師職能委員長会において「保健師の人材育成に向けた基礎教育と現任教育の連携・連動による取組の推進策」について現状、課題や取組を共有。このことについて、委員間の意見集約。
2. 奈良県看護職交流会（保健師職能委員会主催）の開催
月 日：2026年1月10日（土） 13:30～16:30
講 演：「地域全体の健康・療養支援のしくみづくり ～DXを活用した医療機関と地域をつなぐ地域療養支援～」
講 師：慶應義塾大学 看護医療学部 健康マネジメント研究科 教授 田口敦子 氏
情報提供：「宇陀けあネット」による取り組みと課題
講 師：宇陀市役所 健康福祉部 次長 山中佳奈 氏
（一社）宇陀地域医療・介護連携ネットワーク運営協議会 小寺恵子 氏
参加者：27名（奈良県内に勤務する保健師、看護師等）
DXの活用は、地域療養支援に携わる関係者による顔の見える連携が大前提である。看護協会において、看護職の更なる連携を進める必要があり、その中でICT活用について検討していくこと等について、理解し、意見交換する機会とできた。
3. アンケート調査
2021年度の追跡調査として、コロナ禍に就職した保健師を対象に、コロナ禍を経た現在の業務に対する思いや職場の満足度等を調査し、コロナ禍に就職した保健師の人材育成方法について検討する
対 象：2020年4月～2021年3月に県内自治体に就職した保健師 50名
期 間：2026年1月5日～1月31日
結 果：回答数 26名 ※集計分析後、学会等にて報告予定
4. その他
 - ・2025年6月11日（水）2025年度全国職能別交流集会（東京ベイ幕張ホール）
 - ・2025年8月1日（金）第1回全国保健師職能委員長会（TKP新橋カンファレンスセンター）
 - ・2025年11月7日（金）地区別保健師職能委員長会（ホテルポストンプラザ草津）
 - ・2026年3月6日（金）第2回全国保健師職能委員長会（TKP新橋カンファレンスセンター）

◇ 助産師職能委員会 ◇

委員長 細川 喜美恵

本委員会は8名で構成され、本年度の活動目標は以下の通りである。

1. 「母子のための地域包括ケア病棟」の普及・推進
2. 女性の生涯にわたる健康への支援
3. 奈良県内の産科施設の連携強化（情報共有及び情報の発信）

【活動内容】

1. 定例会8回
2. CLoCMip®レベルⅢ認証申請のための必須研修（90分×2）
月 日：2026年2月14日（土） 9:00～12:10
テーマ：1) 妊娠と糖尿病
2) 妊産褥婦のフィジカルアセスメント：呼吸・循環
講 師：地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 産婦人科部長 佐道俊幸 氏
参加者：13名
3. 周産期看護職者職能集会（CLoCMip®レベルⅢ認証申請のための選択研修）
月 日：2025年10月4日（土） 9:30～12:30
テーマ：「性暴力被害を経験した女性の出産支援」について
内 容：1) 性虐待を受けた女性への支援
2) 性暴力被害者へのトラウマ・インフォームドなケアを考える
講 師：奈良学園大学 保健医療学部 看護学科 母性看護学・助産学 教授 服部律子 氏
参加者：16名
4. 近畿地区助産師職能合同研修会（CLoCMip®レベルⅢ認証申請のための選択研修）
月 日：2025年12月20日（土） 10:00～12:00（オンライン研修）
テーマ：「ポジティブな出産体験を通して、女性とのパートナーシップを考えよう」
講 師：和歌山県立医科大学保健看護学部 母性看護学准教授 ドーリング 景子 氏
参加者：123名
5. 看護の出前授業
12校（奈良市立東市小学校・生駒市立俵口小学校・生駒市立生駒台小学校・香芝市立真美ヶ丘西小学校）

橿原市立鴨公小学校・大和郡山市立郡山南中学校・王子町立王子北義務教育学校・五條市立五条小学校
五條市立五條南小学校・五條市立五條東中学校・奈良女子大学附属中等教育学校・奈良県立奈良南高等学校

6. その他

- ・2025年 8月1日 第1回全国助産師職能委員長会 (TKP 新橋カンファレンスセンター)
- ・2025年 11月7日 地区別助産師職能委員長会 (ホテルポストンプラザ草津)
- ・2026年 3月6日 第2回全国助産師職能委員長会 (TKP 新橋カンファレンスセンター)

◇ 看護師職能Ⅰ委員会 ◇

委員長 河野 恵

【活動内容】

1. 定例会の開催 10回

- 1) 理事会内容の共有、看護師職能Ⅰ領域の現状把握、情報交換
- 2) 交流会準備・実施・評価
- 3) 次年度計画立案

2. 看護師職能Ⅰ交流集会

月 日：2025年12月6日(土) 13:00～16:00

テーマ：奈良の医療をつなげる看護の力 ～2040年への挑戦～

【第1部】講師：今村知明(奈良県立医科大学公衆衛生学教授)

内容：奈良県の医療を取り巻く状況、2040年問題

【第2部】講師：河野恵(看護師職能Ⅰ委員長)

内容：2040年に向けた看護のビジョン(日本看護協会)の伝達

【第3部】グループワーク

テーマ：第1部・第2部の内容を踏まえ自施設の役割とこれからの看護

参加者：39名

アンケート回答者：17名(60.7%)

3. 全国、地区別看護師職能Ⅰ委員長会議への参加による情報収集と共有

- ・2025年8月1日 第1回全国看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域(TKP 新橋カンファレンスセンター)
- ・2025年11月7日 地区別看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域(ホテルポストンプラザ草津)
- ・2026年3月6日 第2回全国看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域(TKP 新橋カンファレンスセンター)

◇ 看護師職能Ⅱ委員会 ◇

委員長 山崎 優美代

委員は7名(訪問看護ステーション3名 介護老人保健施設3名 有料老人ホーム1名)で構成され活動を行っている
今年度は奈良・東和地区支部との合同交流会を開催した

【活動目的】

1. 地域包括システムの推進を図り看護師多職種連携ができる
2. 関係団体と地域の施設が連携できるようなネットワークの推進強化

【活動内容】

1. 定例会議 計7回実施

交流会企画・立案・実施 次年度活動方針・内容等の検討

2. 奈良地区支部・東和地区支部・看護職能Ⅱ合同交流会の開催

月 日：2026年1月24日(土) 14:30～16:30

テーマ：『在宅・施設・医療機関での看取り』

場 所：高井病院

内 容：在宅・施設・医療機関の施設から現状報告を受ける

後半はグループにて「看取りや連携でこうだったらいいのに」の討議・発表を行った

参加者：49名(看護師・介護職・SMW・相談員)

合同の交流会において自分たちの知らない施設の機能や役割について理解が深まった

3. 施設や在宅の看護の代表として看護問題を共有し、解決に向けて検討

全国職能委員会にて情報の共有及び職能Ⅱにおける魅力発信についての意見交換を実施

昨年の職能Ⅰとの合同交流会については好事例として地区別看護職能委員長会Ⅱに提出した

4. その他

- ・2025年6月11日(水) 2025年度全国職能別交流会検討会(幕張イベントホール)
- ・2025年6月12日(木) 三職能合同交流会(幕張イベントホール)
- ・2025年6月12日(木) 職能委員長会・全国看護師職能交流集会Ⅱ介護・福祉関係施設・在宅領域
(東京ベイ幕張ホール)
- ・2025年11月7日(金) 看護連盟・看護協会合同会議及び2025年度地区別看護師職能委員長会Ⅱ
(ホテルポストンプラザ草津)
- ・2026年3月6日(金) 2025年度 第2回 全国職能委員長会介護・福祉関係施設・在宅領域
(TKP 新橋カンファレンスセンター)

2025 年度地区支部活動報告

◇ 奈良地区支部 ◇

奈良地区支部長 新田 伊津美

【活動目的】

1. 奈良地区の地域住民の疾病予防・健康づくり、療養支援の強化
2. 広域地域での医療・介護の連携を図り、看護・介護体制の構築

【活動内容】

1. 地区支部委員会：理事会開催月に合わせ計7回開催
理事会報告、審議事項の検討、地区開催行事等の内容検討と調整
2. 奈良地区「一日まちの保健室」開催（地区支部役員5名+応援者5名）

月 日：2025年10月11日（土）10：00～14：30

場 所：奈良県総合医療センター「あをによし祭り」への参加

- 内 容：1. 骨密度測定
2. アロマオイルによるハンドマッサージ
3. 看護相談

参加者は約160名程度の参加があり、例年通りアロマオイルによるハンドマッサージに多くの参加があった。今回、看護相談を設けたが骨密度後に看護相談が受けられるように設定した。その結果、看護相談にも34名の参加があった。内容としては骨粗しょう症予防や成長期にある子連れの母親からは、食生活等に関する相談があった。

3. 交流会（東和地区・看護師職能Ⅱ合同）

月 日：2026年1月24日（土）14：30～16：30

テーマ：「在宅・施設・医療機関での看取り」

場 所：高井病院 西館 1階講堂

対象者：看護・介護職、MSW等

- 内 容：1. 3施設（介護老人保健施設・訪問看護ステーション・高井病院）より現状報告と今後の課題
2. グループ討議

テーマ「看取りや連携で こうだったらいいのに」

参加者：34名+役員15名

参加者から、様々な職種が参加しており、各職種間で温度差があり価値観が異なることを理解した。それぞれの価値観に触れる機会があれば良い。お互いに顔を合わせる機会があれば更に連携が深まる等の意見が聞かれた。合同の交流会であり、自分たちの知らない施設の機能や役割等について理解が深まった。またグループ討議を通して、それぞれの施設での課題を共有し検討することで、自身の課題解決の方向性を見いだせた。

◇ 東和地区支部 ◇

東和地区支部長 有川 万里子

【活動目的】

1. 人々の健康に貢献していくために、看護職の専門性を発揮する
2. 地域住民が最期までその人らしく生き、また穏やかに家族と過ごせるために医療と介護の連携を強化する

【活動内容】

1. 地区支部委員会：毎月第4火曜日 全7回（10：00～12：00）
2. 「まちの保健室」幼児～児童期対象の病院見学及び体験に参加

月 日：2025年9月27日（土）13：00～17：30

場 所：社会医療法人 高清会 高井病院

内 容：親子の共同体験の場と子どもの将来の夢応援のため、白衣体験・ベッドUP体験・血圧測定体験の援助と骨密度測定の実施。

3. 看護職能Ⅱ委員会・奈良地区支部・東和地区支部合同交流会

月 日：2026年1月24日（土）14：30～16：30

テーマ：「在宅・施設・医療機関での看取り」～こうだったらいいのにな～

- 内 容：1) 各3施設の現状報告と今後の課題を発表
2) グループディスカッションと発表

参加者：49名（看護師24名 介護職4名 MSW2名 相談員2名）

自分たちの知らない他施設の機能と役割について理解が深まった。また、グループディスカッションで、それぞれの施設の課題を共有し解決の方向性を見出せたと考える。お互い顔を合わせる機会があれば、さらに連携が深まる。

◇ 西和地区支部 ◇

西和地区支部長 大久保 由美子

【活動目的】

1. 地区支部における看護職間（病院・施設・在宅）の情報を共有し連携を強化する
2. 地域の活性化、レベルアップのために管理者が顔の見える連携の持続化

【活動内容】

1. 地区支部委員会：8回開催 第4火曜日
2. 地区支部交流会

月 日：2025年10月11日（土）10:00～12:00

テーマ：看護職・介護施設との交流会

場 所：奈良県看護研修センター3階

内 容：1) 病床機能を越えた連携や看護職の役割が発揮できるよう検討する場を設ける
2) タスクシフト/シェアの観点から多職種協働での、ケアチームの活動や退院支援への取り組みの紹介と課題を共有する。
3) 施設に転院した患者、訪問看護を受けている患者の現状報告から情報を共有し連携する

対 象：医療機関・施設の看護職および施設管理者

参加者：33名

退院支援・退院後の看護の継続には、他職種（社会福祉士・精神保健福祉士やケアマネジャーや他施設の看護職員）との連携は大きな課題と考える。今回の交流会では、社会福祉士・精神保健福祉士の出席から多方向からの意見があり、有意義な時間が持てたと考える。忌憚ない意見交換からの気づきや、顔の見える関係は、今後の信頼関係にも大きな一歩だと感じた。今後は社会福祉協議会等地域で活動される方の出席にも働きかけていきたいと考える。

◇ 中和地区支部 ◇

中和地区支部長 野村 佳香

【活動目的】

1. 新たな看看連携を模索し、スムーズからシームレスな入退院支援へチャレンジする
2. 誤嚥性肺炎、尿路感染症患者事例への取り組みの実現
3. 中和地区支部の2025年度の新たな看看連携による入退院支援の実践結果を報告、意見交換をすることで、さらなるステップアップした入退院支援の実現に繋げる

【活動内容】

1. 地区支部委員会：毎月第4金曜日開催 全12回（13：30～17：00）
2. 地区支部交流会：

月 日：2026年2月27日（金）14：00～16：00

テーマ：「見えない課題をあぶりだせ！医療的ケア児のリアルに迫る」

講 師：中和地区支部長 野村佳香

参加者：16名（施設看護部長、医療的ケア児への介入への興味のある未経験の看護師、京都府の訪問看護ステーション看護師、医療的ケア児に携わる県職員）

内 容：国内と奈良県内のデータからの現状の報告と過去10年以内の原著論文からメタ統合分析した医療的ケア児にかかわる困難感を病院看護師や訪問看護師、学校でケアを行う看護師や保育士の立場からの実際をまとめたものを報告。その後、奈良県立医科大学付属病院入退院支援センターの藤田主任看護師と藤本MSWから医療的ケア児を取り巻く実際のケースをもちこみ報告。報告後、休憩時間に机のレイアウトを変更して、研修参加者参加型のディスカッションを行った。

医療的ケア児を在宅で養育する家族の負担は極めて大きく、特に24時間の見守りや医療的ケアを必要とするケースにおいては、家族が常に緊張状態に置かれ、精神的・身体的疲弊が蓄積している実態が明らかとなった。実際に保護者からは「常に見張っているような状態である」といった声も聞かれ、気軽に相談できる相手がいないうちで孤立感を深めている状況が伺えた。また、兄弟児への支援不足や保護者の高齢化も進行しており、家族全体としての生活の質の低下や将来的な養育不安が課題として浮き彫りとなった。さらに、緊急搬送を経験した事例では、医療機関による家族支援を受けたことで保護者の精神的安定が回復したとの報告もあり、支援の介入が家族に与える影響の大きさが示唆された。

<レスパイト支援の具体的な形態>

病院での短期入所、訪問看護による在宅レスパイト、宿泊施設を活用した宿泊型レスパイトの取り組みが確認された。病院においては、事前面談や見学、日帰り利用を経て段階的に宿泊へ移行するなど、家族および児の不安軽減に配慮した受け入れ体制が構築されていた。また、家族から24時間の生活リズムやケア内容を詳細に聴取し、病棟内で共有することで個別性の高いケアの提供が図られていた。しかしながら、病棟の都合により毎回同一環境での受け入れが困難であることや、環境変化に伴う発作など児への身体的・精神的負担が課題として挙げられた。さらに、短期入所では滞在期間が限られるため、看護計画の立案や評価が十分に行えないという側面も認められた。

<在宅レスパイトについて>

奈良県南部地域において試行的に実施されていたが、利用希望者は少数にとどまっていた。その背景として、他者を自宅に招き入れることへの心理的抵抗感や、緊急時対応への不安が挙げられた。また、地域における医療資源の不足や移動距離の長さにより、訪問看護側の負担が大きく、1件あたりに多くの時間を要することで他の利用者への影響や経営的赤字につながるといった課題も明らかとなった。他県においては、緊急レスパイト入院を輪番制で対応する仕組みも導入されていたが、利用率の低さから経営的な持続可能性に課題を抱えていた。

<宿泊型レスパイトについて>

宿泊施設を活用し医療的ケア児とその家族がともに滞在できる取り組みが実施されていた。この取り組みでは、兄弟児を含めた家族全体での利用が可能であり、非日常的な環境の中で心身のリフレッシュが図られていた。また、必要に応じて医療スタッフが同行する体制が整えられており、人工呼吸器装着児であっても安心して利用できる点が評価されていた。このような取り組みは、家族の安心感の向上と孤立感の軽減に寄与する有効な支援手段であると考えられた。

<制度面において>

レスパイト利用に至るまでの手続きが煩雑であり、家族自身が医療機関への問い合わせや書類作成、受診、試泊など

を行う必要があることが大きな負担となっていた。また、ケアマネジャーのように支援全体を調整する役割が制度として確立されておらず、支援導入の障壁となっていることが明らかとなった。受診付き添いなどに対する報酬制度の不備も指摘されており、制度的整備の必要性が示された。

<医療機関や訪問看護の現場において>

小児や医療的ケア児への対応経験が少ないスタッフが多く、受け入れに対する不安や心理的負担が存在していた。そのため、経験者と未経験者のペア体制や研修の実施など、人材育成とスキル向上に向けた取り組みが行われていた。また、安全なケア提供のために複数名体制での対応を徹底するなど、受け入れ体制の整備も進められていた。加えて、長期にわたる在宅ケアの中で形成された家族独自のケア方法や「マイルール」が、施設側との間で認識の相違を生むことがあり、支援の難しさにつながっていた。このため、家族の価値観やこれまでのケアを尊重しつつ、信頼関係を構築していくことの重要性が示された。また、兄弟児への心理的負担にも配慮し、家族全体を対象とした支援の必要性が改めて認識された。

<地域連携の観点から>

消防機関、医療機関、訪問看護が連携し、緊急時の搬送先や対応方法を事前に明確化する取り組みが実施されていた。さらに、退院後一定期間のフォローアップを地域連携室が担うなど、切れ目のない支援体制の構築に向けた工夫もみられた。

以上のことから、医療的ケア児とその家族を支えるためには、病院、訪問看護、行政、地域社会が一体となった支援体制の構築が不可欠であると考えられた。また、レスパイト支援の多様化を進めるとともに、人材育成、制度的支援（報酬体系やコーディネート機能）の整備、さらには情報発信の強化を図ることで、家族の孤立を防ぎ、安心して在宅生活を継続できる環境づくりが求められる。

3. 次年度にむけて

次年度に向けても中和地区支部会は社会的課題も考えつつ、看護の役割発信と新たな課題への挑戦へ向かえるよう活動する。

◇ 南和地区支部 ◇

南和地区支部長 谷向 克子

【活動目的】

1. 高齢化が進む南和地区において医療・看護・介護の連携を図り、多職種がその専門性を活かし支援をつないでいけるネットワーク作りを推進していく
2. 南奈良総合医療センター主催の健康フェスティバルに参加し、地域住民の看護への関心を高める

【活動内容】

1. 地区支部委員会：計10回 開催
2. 施設及び僻地への出張研修：2回 / 2025年8月～11月
<五條市> 2025年9月26日（金）14：00～15：00
テーマ：スキンケアと褥瘡
講師：南奈良総合医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 安井精江 氏
場所：社会福祉法人正和会 まきの苑
参加者：71名（看護師、栄養士、セラピスト、介護福祉士、介護士、歯科衛生士、ケアマネジャー、事務職）
<大淀町> 2025年9月29日（月）15：00～16：00
テーマ：在宅場面におけるフィジカルアセスメント
場所：社会福祉法人総合施設美吉野園 障害者支援施設 大淀園
講師：南奈良総合医療センター 救急看護認定看護師 福塚一代 氏
参加者：22名（看護師、介護福祉士、セラピスト、事務職）
3. 南和地区支部交流会
月 日：2026年2月6日（金）18：00～19：30
テーマ：「タスクシフト・タスクシェアへの取り組み」実践報告
場所：南奈良総合医療センター
講師：向井祐治 氏（南奈良総合医療センター）、五十實桃代 氏（五條病院）
宗像マミ 氏（介護老人保健施設でいあほうむ吉野）
内 容：報告：急性期病院での多職種タスクシフト・シェア、慢性期病院の看護補助者へのタスクシフト・シェア、老健施設での障がい者雇用と介護助手業務の取り組みについて
グループワーク：各病院や施設の現状・取り組みについて
参加者：21名（看護師20名・介護職1名）
活発に話合われ有意義な研修となった。アンケート結果（回収率95.2%）より、参加目的達成100%、今後活用できる90%と評価。他施設との交流ができる良い機会であるという意見も多く、このような顔の見える関係や地域における『ヨコのつながり』を大切に、次年度も医療・看護・介護のよりよい連携、関係づくりを目指したい。
4. 南奈良総合医療センター 健康フェスティバルへ参加「ちびっこ白衣体験」ブース担当
月 日：2025年11月16日（日）
来場者：延べ1500名中81名
「かんごちゃん」との写真撮影や隣ブースの南奈良看護専門学校学生が実施する看護体験に誘導して体験につなげた。聴診や赤ちゃん抱っこ体験を白衣に着替えて体験することができ好評であった。

2025 年度委員会活動報告

◇ 推薦委員会 ◇

委員長 丸橋 敦子

本委員会は、定款及び定款細則、内規に基づき、奈良県看護協会の運営及び事業活動を理解し、その任務を担い得る適正な人を推薦することを目的とした委員会で、5名の委員で構成し、6回の委員会を開催し、議論を進めた。

活動内容は、2026年度改選役員候補者(専務理事・常任理事を除く)及び常任委員会・特別委員会の委員候補者、2027年度の日本看護協会通常総会の代議員・予備代議員候補者の公募・推薦である。以下、主な活動を示す。

【活動内容】

- 2026年度に改選を要する役員・委員・代議員(任期満了者)の抽出と名簿作成
- 任期満了者への年次度継続意思確認文書の作成と発送
- 各施設等への推薦依頼及び推薦依頼書及び承諾書の作成と発送
- 2026年度役員・委員候補者及び2027年度代議員・予備代議員候補者の名簿作成

◇ 選挙管理委員会 ◇

委員長 藤本 理恵

【活動目的】

公益社団法人奈良県看護協会の役員及び推薦委員ならびに公益社団法人日本看護協会の代議員及び予備代議員の選任を公平かつ適正に選出する。

【活動内容】

- 奈良県看護協会通常総会(2025年6月21日)
第1号議案から第5号議案の提出議題承認の確認
- 2026年度 奈良県看護協会 役員及び推薦委員の公示・立候補者の受付
2027年度 日本看護協会 代議員及び予備代議員の公示・立候補者の受付

◇ 看護労働環境改善推進委員会 ◇

委員長 前川 紋子

本委員会は6名で構成され、2025年度の活動目的は、以下の通りである。

- 県内で安心して働き続けられる職場環境を構築する。

【活動内容】

- 定例会5回開催
- 追跡調査
 - 2022年度～2024年度作成した3冊の事例集の活用促進、水平展開を進める。
 - 3冊の事例集周知のためのチラシの作成と発送
 - 3冊の事例集を参考に、施設での業務改善に向けた取り組み状況把握のための追跡調査の実施
 - 追跡調査依頼施設：病院、学校関連、訪問看護、行政、施設を合わせて500施設に発送
 - 追跡調査の結果より事例展開している施設を選択(7～8施設)

◇ 教育企画・運営委員会 ◇

委員長 宮 寛明

委員会 8回

研修会運営 6回

本委員会は、7名の委員で構成され、活動目的に従って奈良県看護協会継続教育の方向性を提示し、先駆的な知識・技術を提供できるための支援プログラムの作成と評価、および、研修の運営を行った。本年は看護協会移転予定であったため、研修回数が6回となった。

【活動内容】

- 2025年度の教育計画の評価
受講状況、受講者のアンケート結果より
- 研修会運営
- 2026年度の教育計画の検討
 - 日本看護協会 継続教育部の活動内容についての情報共有
 - 研修の評価方法(企画としての)項目の検討
 - 2026年度研修会計画14研修を企画した。

◇ 奈良県看護学会委員会 ◇

委員長 林田 麗

定例会 7回

構成員 8名

【活動目的】

臨床・教育・地域のすべての看護職が、同じ志をもつものとして集まる機会となる奈良県看護学会の企画・運営を行う。

【活動目標】

看護研究および看護実践の成果を発表し共有することで、発表者と参加者の相互の研鑽を図り、奈良県における看護

の質の向上に繋げる

【活動内容】

今年度は、示説を新しく導入し演題数拡大を見越して、会場をかしはら万葉ホールに変更した。また、昨年と同様に会場とオンライン参加のハイブリッド開催と後日、オンデマンド動画を作成し配信した。

1. 定例会

- 第1回 7月15日(火) PM:委員会役割の決定、昨年度の活動報告と新委員への活動周知、今年度の活動予定等
- 第2回 8月26日(火) PM:査読・選考(応募22演題→2演題取り下げ) 20演題で開催予定
- 第3回 9月16日(火) PM:再査読 口演・示説の選考とプログラム作成 取り下げにおける検討
- 第4回 11月18日(火) PM:学会当日運営について(マニュアル確認、会場設営、Web確認)、次年度特別講演講師の検討
- 第5回 12月12日(金) PM:会場にて学会前日準備(会場設営、資料スライドの確認、リハーサル)
- 第6回 12月13日(土) 1日:奈良県看護学会運営(当日)
- 第7回 2026年1月13日(火) PM:今年度開催学会の振り返り・評価と次年度の計画

2. 奈良県看護学会開催

- 月 日:2025年12月13日(土) 10:00~16:00
- 場 所:かしはら万葉ホール 5階レセプションホール
- テーマ:看護の本質~そこに看護はあるのか~
- 演題数:20題(口演15題・示説5題)
- 特別講演:テーマ ドラえもんは最後に何をしたら寄り添うって?向き合うって?~
- 講師 京都大学大学院 人間・環境学研究科 研究員 佐藤 泰子氏
- 学会形式:ハイフレックス方式(ハイブリッド)
- 参加状況:216名(会場111名 オンライン18名 看護学生87名:2校)
- 事前参加登録者208名 当日参加者8名
- 関係者(看護学会委員8名・広報委員2名・協会職員11名)
- 参加総数 237名

◇ 広報出版委員会 ◇

委員長 小坂 明子

1. 取材活動

- 1) 5月11日 看護の日イベント表彰式 取材及びイベント協力
- 2) 6月21日 通常総会 取材及び原稿寄稿
- 3) 10月25日 防災訓練 原稿依頼
- 4) 12月13日 奈良県看護学会 取材及び原稿寄稿
- 5) 原稿 教育担当研修・実習指導者研修・ファースト研修・訪問看護ステーション・職能集会・地区支部 原稿依頼
- 6) 表紙 105号撮影 106号依頼
- 7) 原稿 「看護の未来にむけて」:新人研修・2年目研修への依頼
- 8) 原稿 「ちょっと一息」の取材 奈良明日香およびクイズの写真撮影

2. 広報誌「看護なら」通常発行:年2回

- 1) 1) 2025年教育計画・行事日程発表後、取材・原稿依頼について計画・立案する
7/4 9/5 10/10 12/16 1/9 3/3 5/14 5/29 6/9 6/20 活動実施
- 2) 「看護なら」発行数 奈良県看護協会会員数+100部
8月・1月発行
- 3) 106号より、ちょっと一息の名所をクイズにして、正解者に1000円×5枚 クオカードプレゼント企画に77名の応募があり、電子抽選により5名を選出し、郵送

本委員会は5名の委員で構成され、奈良県看護協会機関紙「看護なら」の企画・編集・発行を担った。協会の活動内容を広く周知するとともに、奈良県における医療・看護・介護に関する情報提供を行った。また、会員の関心を高める取り組みとして、「ちょっとひと息」コーナーにて、明日香村の取材記事とクイズを掲載し、正解者にクオカードを贈呈する読者プレゼント企画を実施した。本年度は、定例会を10回、取材活動を3回、「看護なら」105号(2025.8月)および106号(2026.1月)を発行した

◇ 医療安全検討委員会 ◇

委員長 中村 光代

本委員会は、医療安全管理者研修を修了し、医療安全に携わっている委員9名から構成されている。

【活動目的】

医療安全質向上のため、安全管理活動を推進する

【活動内容】

1. 定例会 8回

2. 医療安全管理者養成研修集合研修(演習)の受託事業の企画・運営

主 催:日本看護協会

月 日:2025年7月1日~オンデマンド研修受講開始

2025年11月7日(金) 演習

講 師:奈良県立医科大学附属病院 副委員長 病院教授 医療安全管理者責任者

医療の質・安全管理センター センター長 辰巳 満俊 氏

演習支援：奈良県立医科大学附属病院

医療の質・安全管理センター 副センター長 看護師長 堀川 勝代 氏

看護主任 稲葉 由佳 氏

場 所：奈良県看護研修センター

修了者：54名

分析手法の体験を通じて現場課題の要因分析の重要性を再認識し、自部署での実践につなげたいという声が多く寄せられた。また、他施設の状況を知ることで視野が広がり、医療安全委員として主体的に取り組みたいという意欲の向上も確認された。これらのことから、本研修は個々の学びにとどまらず、部署内での改善活動や組織横断的な知見共有の促進にも寄与する効果が示された。

3. 医療安全管理者の情報共有によるスキルアップセミナーの企画・運営

月 日：2025年9月18日（木）

対 象：医療安全研修受講修了者（看護師） 参加者 17名

内 容：5グループに分かれテーマをそれぞれ決定

困っていること、自施設で取り組んでいること、今後取り組めることについてディスカッション

その後、グループ別に発表にて情報共有を行った

他施設の取り組みを知ることで視野が広がり、自施設での改善に活かしたいという意欲が多く寄せられた。また、医療安全管理者としての役割理解が深まり、インシデント当事者への配慮や多職種間の情報共有の重要性を再認識する声もあった。経験豊富な管理者からの実践的な知見も得られ、今後の医療安全活動に向けた示唆に富む研修であったことが示された。

◇ 規約委員会 ◇

委員長 橋口 智子

本委員会は6名で構成され、公益社団法人に適した定款・諸規定の見直しやその他必要な規定の制定等について検討している。

2025年度は、委員会を6回開催し、その主な内容は、定款、理事会開催回数の変更、理事報酬規則の一部改正、委員会構成に関する見直しに伴う関係規定の変更、協会職員の給与支給規則、外部団体への後援・協賛に関する内規、研修受講料取り扱い規程など公益社団法人として、適正な運営を進めるため、理事会に上程した。

◇ 災害看護委員会 ◇

委員長 加藤 計至

本委員会は委員9名で構成

【活動目的】

災害時における看護職の果たす役割の理解と活動の実践ができる人材の育成

災害支援ナースの育成と登録促進を図り、県内及び他都道府県において災害発生し派遣要請がある際、災害支援ナース派遣と看護活動支援活動できる体制整備と、自施設の災害対策の推進に努める。

【活動内容】

1. 委員会定例会9回（研修・訓練・会議を含む）

2. 奈良県防災総合訓練参加および指導

1) 参加者の訓練配置、訓練参加準備などを行う

2) チームビルディングとしての看護職の役割と実践の指導をする

3) コントローラーを担う

4) 他府県・他職種間の連携

近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・奈良県総合防災訓練参加

月 日：2025年10月26日（日）

場 所：医療救護訓練：奈良県第二浄化センター

避難所運営訓練：三宅町体育館

参加者：37名（委員含む）

3. 災害支援ナース養成研修の集合研修（演習）企画・運営（日本看護協会受託事業補助あり）

月 日：災害編演習：2025年11月5日（水）講義および演習支援担当

感染症編演習：2025年11月18日（火）

場 所：奈良県看護研修センター

受講者：61名

4. 次年度災害支援ナース養成研修 企画・指導者研修受講

eラーニング研修終了後、災害・感染症演習受講にて修了

演習日時：2026年2月13・27日

参加者：災害委員より2名

◇ 認定看護管理者教育運営委員会（特別委員会） ◇

委員長 福山 麻里

定例会 2回

構成員 5名

【活動目的】

認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修およびセカンドレベル研修における教育課程の編成・企画・運営・評価に参加し、科目修了証明・教育課程修了証明に関する審議を行う

【活動内容】

- 2025年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修について
 - ・受講者選考：受講者 63名 修了判定 63名
 - ・次年度運営方針と講師の検討
- 2024年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修修了者報告会について
 - ・報告発表者 25名 参加者 41名
- 2025年度認定看護管理者教育課程における講師および演習支援

◇ 倫理審査委員会（特別委員会） ◇

委員長 高橋 久子

倫理審査委員会 1回

本委員会は、6名の委員会で構成され、所属施設に倫理審査委員会を持たない奈良県看護協会会員及び当協会の委員会等が実施する看護研究及び調査について1件の申請があり、基準に基づき倫理審査を行った。

◇ 准看護師委員会（特別委員会） ◇

委員長 西山 晋輔

定例会開催：7回

(7月25日・9月26日・10月24日・11月21日・12月19日・2026年1月23日・3月6日開催)

構成員：5名

【活動内容】

1. 交流会

月 日：2026年1月23日（金）13：30～16：30

目 的：職務を担う上で看護実践に必要な臨床での倫理問題について考える

講 師：奈良県立医科大学 渋谷洋子氏

参加者：14名

研修内容：①講演「患者さんへの尊厳を忘れていませんか？」

～臨床倫理について学び看護師の感性磨きましよう～

・倫理の基本について（倫理4原則）について

・価値観ゲーム（グループワーク）

②准看護師ディスカッション

「GENBAの悩みやモヤモヤを語り合いましよう！」

交流会では参加者が少なかったが、倫理の基本について学び、このプロセスが関係性を深める機会となった。